

令和3年度決算がまとまりました

納付金が一時的に減少し財政状況改善 しかし今後は厳しく

令和3年度決算案などを審議するCNCグループ健康保険組合の組合会が7月26日（火）に開催され、収入支出決算案などの議案が全会一致で承認されました。

一般勘定の収入総額は8億3324万9千円、支出総額は6億5547万9千円、収入支出差引額で1億777万円の剰金を計上することができました。また、単年度の財政状況を示す経常収支でも、経常収入合計は6億6869万円、経常支出合計は6億4423万円、経常収支差引額は2446万円の黒字になりました。

これは、健保財政にとって保険給付金とともに二大支出となっている納付金のうち、後期高齢者支援金は毎年着実に増加しているものの、前期高齢者納付金が過去の概算納付額と確定納付額の精算により減額・返還となったことなどにより、前年度に比べ5234万3千円減少したことが大きく寄与しています。

しかし、この減少はコロナ禍などによる一時的かつ特例的なものであり、令和7年にかけて団塊の世代が後期高齢者になることから、納付金がさらに増加することは確実であり、健保財政を取り巻く環境はいつそう厳しさを増すことが必至の状況です。

令和3年度 一般勘定

収入

保険料率は前年と同率の1000分の88で、保険料収入は前年度から3525万4千円増の6億6784万4千円、調整保険料収入1125万5千円、準備金からの繰入金は前年

度より5000万円少ない1億5000万円、納付金に対する国庫補助金330万4千円、その他の収入を含めた収入総額は8億3324万9千円と、前年度から5244万8千円の減少となりました。

令和3年度収入支出決算の概要

一般勘定

決算基礎

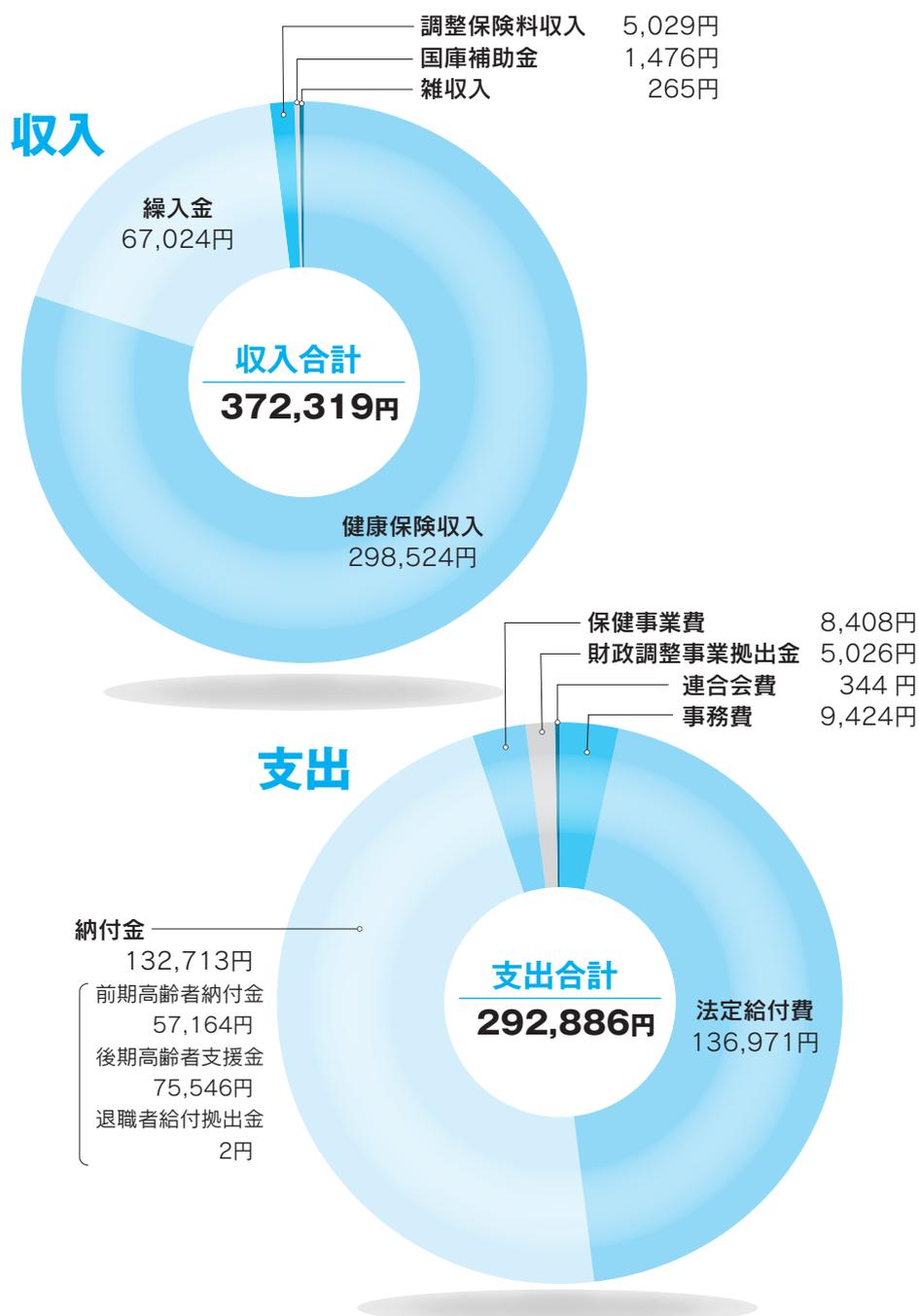
- 被保険者数 2,238人
- 平均年齢 29.15歳
- 平均標準報酬月額 266,337円
- 保険料率 88/1000

収入		科目	決算額(千円)
健康保険収入	保険料	667,844	
	国庫負担金	253	
調整保険料収入	11,255		
繰入金	150,000		
国庫補助金	3,304		
財政調整事業交付金	0		
雑収入	593		
合計		833,249	



支出		科目	決算額(千円)
事務費		21,092	
保険給付費	本人	186,567	
	家族	101,756	
	高齢者	4,128	
	高額療養費	14,090	
納付金	前期高齢者納付金	127,932	
	後期高齢者支援金	169,073	
	病床転換支援金	1	
	退職者給付拠出金	5	
保健事業費	特定健康診査事業費	4,991	
	特定保健指導事業費	112	
	保健指導宣伝費	5,354	
	疾病予防費	8,360	
営繕費	0		
財政調整事業拠出金	11,249		
連合会費	769		
合計		655,479	

■ 被保険者1人当たり収支



支出

事務費2109万2千円、保険給付費（法定給付費）全体で3億654万1千円、高齢者医療制度にかかわる納付金等が2億9701万1千円、保健事業費は特定健康診査事業費（特定健診・特定保健指導）

510万3千円、保健指導宣伝費535万4千円、疾病予防費836万円を計上、保健事業費全体で1881万7千円、その他の支出を含めた支出総額は6億5547万9千円と、前年度から1014万8千円の減少となりました。



令和3年度収入支出決算の概要

介護勘定

決算基礎

●第2号被保険者数 平均標準報酬月額 317,146円
 本人 164人 家族 47人 ●介護保険料率 20/1000

収入	科目	決算額(千円)	1人当たり額(円)
	介護保険収入	14,177	86,445
繰入金	2,000	12,195	
雑収入	1	6	
合計	16,178	98,646	
支出	介護納付金	10,150	61,890
	合計	10,150	61,890

介護勘定

保険料率は前年と同率の1000分の20で、介護保険収入は1417万7千円、準備金からの繰入金200万円、一方、支出は介護納付金が前年度から205万4千円減の1015万円となりました。介護勘定の収入支出差引額は602万8千円となっています。